

# 安心・安全な毎日のために

## 災害に備えよう！

9月1日は「防災の日」です。この日は大正12年9月1日に関東大震災が発生した日にちなんで制定され、8月30日から9月5日までの1週間を「防災週間」と定められています。

最近では、平成20年6月14日に岩手宮城内陸地震が発生し、尊い人命や貴重な財産が失われています。

また、この時期は気象用語で「210日」にあたり、台風が襲来するといわれ、集中豪雨などによる災害が発生する恐れがあります。

いつ、どこで、どのような災害が発生するか分かりません。

今一度、家庭や職場で「防災」について話し合っておきましょう。

- 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- テレビやラジオなどで気象状況を確認しておきましょう。
- 家屋の補強や排水路などの掃除をしておきましょう。
- 非常食や非常持ち出し品を用意しておきましょう。
- 家庭内や職場などで役割を決めておきましょう。

庄原消防署 0824-72-9911  
東城消防署 08477-2-4005

### 9月9日は「救急の日」

9月9日は「救急の日」です。また、9月9日から15日までの1週間を「救急医療週間」と定められています。

消防署では、市民の皆さんに救急医療や救急業務の正しい理解と認識を深めていただくために、各種講習会やイベントなどを行います。

病気やけがは、いつ、どこで起きるか分かりません。もしもの時にあわてず適切な応急手当を行うために、職場や地域で救急救命講習やAEDを用いた救急救室をされてはどうですか。

ご希望の方は、お近くの消防署にお気軽にお問い合わせください。



## 県大会上位入賞を目指し猛練習

### がんばれ！庄原市消防団庄原方面隊

広島県小型ポンプ操法大会の上位入賞を目指し、庄原市消防団庄原方面隊が練習に励んでいます。

4年に1度開催される県大会は、県内14市5町から24チームが出場予定。4人で編成されたチームが可搬ポンプを使用し、ポンプ操作や放水操作を行い、火点標的を倒すまでの所要時間と安全確実性を競います。

庄原市を代表して県大会へ出場する選抜選手は、昨年の庄原支部大会で優勝した山内西分団と第3位の敷信分団のメンバー8人。大会直前までチーム内で競争し、レギュラー4人を決定します。

県大会に向け、4月から週2回の練習を再開。仕事を終えた選手は庄原中学校グラウンドに集合し、19時〜21時30分まで汗を流しています。選手は宮脇弘明県指導員から厳しい指導を受けるとともに、2人ペアで基本動作を指摘し合いながら技術を磨いています。また、毎回応援団員が約40人かけつけ、ホースを巻くなど選手をサポートしています。

チームリーダーの宮本和則選手は「真夏の暑い中、仕事帰りの練習はかなりきつい。しかし、家族や職場、多

くの団員に支えてもらっているので、庄原市から初めての県大会上位入賞を目指してがんばりたい」と話しています。

7月からは練習日を週3回に増やし、今後さらに厳しい練習を続けていきます。練習の成果が十分に発揮されるように、市民の皆さんの温かい声援をお願いします。

とき 9月9日(水)

ところ 広島県消防学校グラウンド

選抜選手 岡田信行、田森祐行、藤谷 稔、宮本和則、藤田慶一、磯野誠二、池田陽介、近保登美章



選抜選手の8人